



分子イメージング連携特別講義



1) サイエンスビジュアルと、サイエンスコミュニケーション —日本の現状と東北大学

講師：長神 風二(ながみふうじ)氏
東北大学脳科学グローバルCOE特任准教授

大学院医学系研究科・医学部広報室担当兼務。今やJSTイベントとして定着した「サイエンスアゴラ」の立案者でもあり、科学コミュニケーションの様々な実践で知られる。「世界一受けたい授業」(日本テレビ系列)にも出演。

【メッセージ】 2000年代以降、日本において、急速にサイエンスコミュニケーションの重要性が叫ばれ始め、各地で教育コースも生まれてきています。しかしながら、イラストレーション、グラフィックスと言ったビジュアル面の役割は、そうした潮流の中でも軽視されています。日本の現状を整理し、東北大学が現在取り組んでいることについても概観します。

2) サイエンスアート作成・教育の現場と海外事情

講師：Tomo Narashima 氏
サイエンスアーティスト・Tane+1 LLC 代表, USA

ニューヨークを拠点に活動するサイエンスアート・エージェンシー Tane+1 LLC の代表。自らもScience, Scientific American, 日本のNewtonなど有名な科学雑誌および多数の医学書のイラストを担当。

【メッセージ】 医工学の研究発表や教育においてビジュアル情報は欠かせません。イメージングではビジュアル情報を直接扱いますが、情報の読み取りや分かりやすい提示の部分でScientific Artが協力できる場面は多々あります。東北大学ではToronto大(2010)とJohn's Hopkins大(2011)の協力を得て、医学分野を軸にMedical Art実習講座をしてきました。現場をご紹介します。

日時：11月24日(木)17:00 - 18:00

場所：青葉山キャンパス工学研究科

機械・知能系ナノ医工学研究棟 REDEEM講堂

<http://www.nanobme.org/contact/index.html>

工学部Bookカフェにおいて海外作品を展示中！
(11月23～25日) 講演終了後ガイドツアーも予定。

連絡先：サイクロトン・RIセンター/医学部機能薬理学
田代学、古本祥三・谷内一彦(795-7797)
(東北大学分子イメージング研究推進室)

共催：東北大学グローバルCOE
「新世紀世界の成長焦点に築くナノ医工学拠点」
サイクロトン・RIセンター

